

とーむだよい

どーむチームは、すみれ組、たんぽぽ組、ひまわり組、りす組と一緒に活動しています。お祭りに行ったことのあるすみれ組やたんぽぽ組の子供たちが中心になって、「こんなお店あったよ」「どんなお店がいいかな？」と話し合った中で、みんながいいなと思ったたこ焼き、焼きそば、お好み焼きの食べ物のお店と、くじ引きのお店を選びました。今は食べ物のお店を気に入り、たこ焼きチーム、焼きそばチーム、お好み焼きチームに分かれて、制作や遊びを楽しんでいます。

たこ焼きチーム

りす組の友達と一緒に楽しめる屋台は何か？とみんなで考えて、「たこ焼きがいい！」という話になりました。0、1歳児と3、4、5歳児ではできることは違いますが、りす組が新聞紙を丸めている時に「どんなのできた？」とたんぽぽ、すみれ組が覗きに行くなど、同じ部屋で互いにどんなことをしているのか見ながら取り組むことができました。スモックの着脱を手伝ったり、「こっちだよ」と連れて行ってくれたりと、年上の子供たちが年下に優しく接する姿も見られました。

また、「たこ焼き」の文字を書く時には、「字書けるよ」とすすんで書いたり、ショウガや青のりの色や廃材を選ぶ時に、「これ鉄板に使えるよ」「この形、入れ物にできる」と持ってきてくれたりと、すみれ組がリーダーシップを発揮する姿がありました。



おいしいたこ焼き
になあれ

焦げ目を
つけよう

一緒に塗ろう♪

こうやって
切るんだよ

文字を書くのは
任せて！

たこ焼き、ひとつ
ください〜い

上手につかんで
入れられるよ！

焼きそばチーム

キャベツはしわしわ
にしよう

一緒にヘラを
作ろう

看板の絵はどんなの
にしようかな

いらっしやいませ〜♪

ぼうが切って
いくね

ソースをかけることや混ぜることをイメージしながら、麺の色、太さ、長さなどをみんなで考えました。「毛糸をそのまま使うと長すぎるね」「食べやすいように切っていこう！」とお皿いっぱいになるまで毛糸を切りました。また、焼きそばの具にはどんなものが入っているかな？と想像しながら素材を選び、くしゃくしゃにした画用紙をキャベツにしたり、オレンジの紙を細く切って人参にしたり・・・と、子供たちのイメージを形にしていきました。3歳児の友達も、お兄さん・お姉さんが作る姿を見ながら、「細く切れたよ」「おいしそうにできたよ」と楽しそうに取り組んでいます。

屋台の外装では、「カラフルな看板にしたいね」と話していたので、何色を使うかみんなで考えて、3色のものになりました。すみれ組とたんぽぽ組の子供たちが、「焼きそばの絵を描いてお店を飾ろう！」と一緒に絵を描く姿もありました。

くじ引き作り

「くじ引きって知ってる？」という話し合いから始まり、「箱の中から数字を引く」「おもちゃがもらえる」と、知っていることを伝え合いました。「ひもを引っ張るやつも見たことあるよ」という声から、千本くじスタイルのものになりました。景品作りでは、「どんなものがもらえたら嬉しいかな」と子供たちに考え、どんぐりを使ったゲームや、アクセサリ、楽器など、楽しいものがたくさんできあがってきています。

おこのみやきチーム

お好み焼きってどんなもの？という話から、「熱い所で焼いてる」「こうやって、道具使って焼くねんで」「エビとか、キャベツとか入ってた」と知っていることを出し合い、どんな素材で作りたいか話し合いました。「画用紙で作ったらいいんじゃない？」「これ入れ物に使えるよ」と、素材や廃材から材料を選び、子供たちなりに考えてお好み焼き屋さんができるまでです。

活動の中で、紙粘土をちぎって年下の友達に「どうぞ」と分けたり、「こうやってするんだよ」と作り方を優しく教えたりと、異年齢での関わりも増えてきました。

自分たちで作った材料を混ぜて、鉄板に見立てた段ボールの上でお好み焼きを焼き、「いらっしやいませ！」という声が聞こえるようになってきました。どんな屋台になるのかとても楽しみです！



すみれさんが切ってくれた鉄板を貼るよ

みんなで作った材料を乗せて焼こう

もうちょっとソースを塗ろう

看板にも飾り付け♪

おいしいおこのみやきはいかがですか♪

どんな景品にしようかな

くじ引き楽しんでもらいたいな